

## 「比叡平一丁目自主防災会」 第1回活動会員会議 報告

日時：平成21年4月19日（日） 19：30～21：00

場所：山中比叡平公民館（支所）2階大会議室

出席者（組・番地順、敬称略）：山本隆一、上原和三郎、谷都満子、福田孝男、籠正二、笈田昭、西村政彦、諸岡明、瀬川明廣、三野一明、猪口深、友田理枝子（大塚比叡山荘）、以上12名

会議内容：4名ずつ、3組に分かれて、関連する専門班の活動に関して考えていることを話し合い、模造紙に項目を書くことによって記録を残した。以下は笈田なりにそれらを纏めたものである。なお、当日時間の関係で披露できなかった田畑さんの提案も付け加えた。

情報班：

### I 平常活動

1. 過去の地震の記録を振り返る（「防災は伝承に基づく」）
  - 1) 琵琶湖の地学的歴史
  - 2) 寛文2年（1662年）近江・若狭地震の記録（旭浜・琵琶湖の変動、延暦寺などの記録、墓石が動いたか？）。
  - 3) 神戸・新潟の地震の記録（神戸大地震の時、比叡平はどうであったか？新潟の場合、活断層がない地域であったにもかかわらず起きた）。
2. 比叡平の地形・地質学的特性を把握する（「知識を持つ」）
  - 1) 風化花崗岩で、陥没して穴が開いたことがある。
  - 2) 下水管が陶製のため弱い→大津市に問い合わせても返答なし（予算の関係か）。
  - 3) 液状化で避難場所である小学校まで行けないのではないか？
  - 4) 比叡平の下には活断層が無いので、比較的楽観している。
  - 5) 京都市防災センター、京都大学防災研からの講師に比叡平の診断を願う。
3. 地震に関する防災アンケートを行う（「住民の意識を高める」）
  - 1) 過去2回行ったが、アンケートの有効性は？
  - 2) 穴があいたことがあるか？
  - 3) 倒木の心配は？
4. 懸案事項
  - 1) 自治会未加入家庭の問題
  - 2) 不法路上駐車危険性
  - 3) 危険な樹木の伐採の必要性
  - 4) 交番設置の必要性

## 5. 田畑氏の提案

- 1) 「あいさつ運動」を進める。強化月間を設けてキャンペーンする。
- 2) 「タウンウォッチング」を実施する。二手に分かれて一丁目を見て歩く。
- 3) 「防災ハイキング」をする。

## II 地震発生時の活動

### 消火班：

#### I 平常活動

1. 一丁目の消火器・消火栓の点検（年2回）
2. 消火栓の開閉等の使用訓練
3. 防火用水の確認
4. 家庭の消火器の点検
5. 初期消火の指導
6. 家庭用煙検知器の設置
7. 広報活動を行なう
8. 自治会各組から消火担当者の選出が必要

#### II 地震発生時の活動

1. 大声で火事を告げる

### 救出・救護班：

#### I 平常活動

##### （救出関連）

1. 救出用具の事前手配
2. 機材・工具の保管場所の承知（どのようなものがあるか、確認する）
3. 機材・工具の保管場所のリストを作成し、必要なもので欠けているものは補充する。
4. 機材・資材の使い方の訓練を早い段階で実施する。
5. 定期的に機・資材のメンテナンスを行う。

##### （救護関連）

6. 医療行為のできる方（医師・看護師）の情報入手→協力要請を行う。
7. AEDの使い方の訓練
8. 応急手当法の習得

##### （全般）

9. 避難場所の設定
10. 危険箇所の把握
11. 3丁目との合同訓練
12. 防災活動を広める。

## Ⅱ 地震発生時の活動

### 避難・誘導班：

#### I 平常活動

1. 避難場所の確認（・市民センター、・小学校、・幼稚園、・児童クラブ、・保育園？・南自治会館？・比叡平自治会館、・大塚製薬比叡山荘、・市民グラウンド）
2. 「避難・誘導」の腕章か、標識の準備（田畑氏）
3. 広報活動を行なう。

#### Ⅱ 地震発生時の活動

1. 家族の無事の確認
2. 隣近所、組単位の確認
3. 組単位、家族人数の確認
4. 避難場所への誘導
5. 連合自治会、パネルの活用

### 給食・給水班：

#### I 平常活動

1. 各家庭、防災グッズの設置の確認（屋外に置く）
2. 水道山の水の使用設備あり（広報する）
3. 日々のコミュニケーションを良くする（日々の声かけ、助け合い運動など） →全体に有効。
4. 「あいさつ運動」（田畑氏）
5. 炊き出し用具、給食材料（米など）の確認
6. 広報活動を行なう。

#### Ⅱ 地震発生時の活動

以上（文責 笈田）